

『10 参考にするだけなら』

主題名：誠実に明るい心で
内容項目：A 正直、誠実

教科書p.47～49

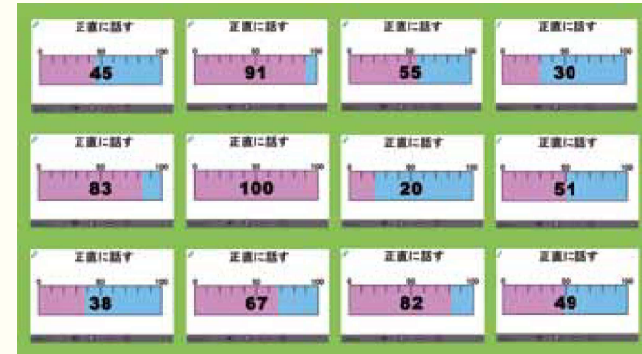
学習活動、主な発問、予想される児童の反応例	指導上の留意点、ICT機能の活用例
<p>正直に言うことについて考える。</p> <p>○うそやごまかしをして、そのあと正直に言い出しにくくなってしまったとき、みなさんはどうしますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのままごまかし続ける。 ・正直に言って叱られるのが嫌だからとぼける。 ・叱られたり、責められたりしなさそうな人にまずは話してみても、勇気をもててから正直に言えばよい。 ・いつまでもごまかし続けるのは嫌だから、早めに正直に言うようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> * 正直に言い出せなくなってしまったときのことで、既有的な考えを共有することで、教材の登場人物が悩む姿に共感できるようにする。
<p>教材を読んで、話し合う。</p> <p>考えよう</p> <p>①知子さんのしたこの問題点は、どこでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他人が書いたものを写してしまったところ。 ・先生や友達に褒められた時点で、写したことをすぐに正直に言わなかったところ。 ・写したことをいつまでも言わないところ。 <p>②知子さんがベッドの上で想像している二通りの姿について、どのように思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・叱られるのは嫌だけれど、仕方がない。 ・賞状を受け取っても、喜べない。 ・どっちも嫌だ。最初から写さなければよかった。 <p>③自分が知子さんだったら、このあとどのようにしますか。みんなて話し合ひましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんに正直に話す。 ・先生に正直に話す。 ・黙っている。 ・賞をとったり、もっと大きなコンクールに出すことになったりしたら話す。 	<ul style="list-style-type: none"> * 「代表に選ばれなかったら写してもよかったのか」「写した分量が半分以上だからいけないのか」などと、児童が意見を述べるだろう。知子さんの行動の問題点を考えることで、情報モラルや、「正直、誠実」という問題についての考えをまとめさせる。 * 二通りの姿について比較して考えることで、知子さんがどんなことに迷っているのかを明確にできるようにする。 * ICT活用 心情メーター：正直に話すかどうかについてアプリを使って考える。操作した心情メーターは全体で共有して、心の葛藤を可視化し、好ましい行動と行動することの難しさについて考えられるようにする。 ※作業から提示まで約3分。 * 各自が示した割合について問い返しを行うなどで、その理由を明確に言えるようにしてもよい。 * 話し合っても答えを出す必要はない。
<p>学習のまとめをする。</p> <p>深めよう</p> <p>④うそをつかずに、正直に生きていくために、自分はこれからどのようなことに気をつけたいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ついうそをついてしまったら、すぐに認めて謝る。 ・正直にできないことがあったら、自分が言いやすい大人や友達に相談したい。 ・なんでも正直にしたい。 ・そもそもうそをつくのは、みえを張ることだから、そんなことをせずに、ありのままの自分を見せればよい。 	<ul style="list-style-type: none"> * これからの生活にどのように生かすかという道徳的な実践につなげる。

ICT機能の活用

心情メーター

「自分が知子さんだったら、このあとどのようにしますか。」という問いの際に、正直に話すかどうかについて心情メーターを使って考えさせるとよい。熊本市教育センター ICT支援室が開発している「心の数直線」というアプリケーションもある。

まず、個人で正直に話す気持ちをピンク、正直に話せない気持ちをブルーとして、その割合を調整していく。次に、全体で共有し、正直に話すことについて多様な考えがあることが確認できるようにする。心情メーターはひと目で心の迷いを確認することができるため、多様な考えを視覚的に捉えやすい。また、微妙な割合まで調整することが可能であり、共有画面を見ながらその根拠を話し合うことが想定できる。それにより、誠実に明るい心で生活することへの理解を深めることが期待できる。



上図は熊本市教育センター「心の数直線」を使用 (<http://www.kumamoto-kmm.ed.jp/kyouzai/web/Heart-meter3/>)

板書例

○これから正直に生きていくために

賞をとった話す

だまっている

先生に話す

お母さんに話す

○このあとの行動は？

著者権

○知子さんの行動の問題点は？

・他人の文章を写したところ。

・写したことをすぐに言わなかったところ。

・写したことをいつまでも言わないところ。

○二通りのすがたについて

・しかられるのはいやだけれど、仕方ない。

・賞状を受け取っても、喜べない。

・どっちもいやだ。最初から写さなければよかった。

誠実に明るい心で
参考にするだけなら

言い出しにくくなったときにどうしたらよいか。

児童の学習状況(活動)の評価

〔評価の視点〕

- ①他者の考えにふれ、まちがいや過ちを素直に認めることの難しさについて、多面的・多角的に考えることができているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述)
- ②まちがいや過ちを素直に認め、正直さや誠実さをもって生活することについて、自分との関わりで考えることができているか。(授業中の姿や発言、ワークシートの記述、ICT端末での記述)